

福祉サービス第三者評価結果報告書【平成31年度(2019年度)】

2020 年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 101-0041
所在地 東京都千代田区神田須田町1-9
相鉄神田須田町ビル203

評価機関名 株式会社 福祉規格総合研究所

認証評価機関番号

機構 03 一 109

電話番号 03-3258-0348

代表者氏名 代表取締役 林 俊哉



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	① 後 藤 康 浩		経営	H1201002
	② 杉 浦 慎 也		福祉	H0702029
	③ 杉 山 麻 衣 子		福祉	H0901016
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	どんぐり保育園			
事業所連絡先	〒	140-0004		
	所在地	東京都品川区南品川2-9-13		
	TEL	03-3471-1673		
事業所代表者氏名	園長 中山 裕美子			
契約日	2019年 10月 17日			
利用者調査票配付日(実施日)	2019年 11月 25日			
利用者調査結果報告日	2020年 1月 14日			
自己評価の調査票配付日	2019年 11月 25日			
自己評価結果報告日	2020年 1月 14日			
訪問調査日	2020年 1月 21日			
評価合議日	2020年 3月 6日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	当園は、15回目の第三者評価への取り組みである。昨年に引き続き当社が担当させていただいた。ただし、多様な視点で評価を行うため、評価者の一部を替えている。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。
本報告書の内容のうち、

- { 機構が定める部分を公表することに同意します。
 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
 別添の理由書により、公表には同意しません。

2020年 3月

事業者代表者氏名 園長 中山 裕美子



1/26

1	理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）
	<p>事業者が大切にしている考え方(事業者の理念・ビジョン・使命など)のうち、特に重要なものの(上位5つ程度)を簡潔に記述 (関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定)</p> <p>1)個性を引き出す保育 2)地域との連携 3)人間性豊かな子どもの育成 4)職員の資質の追及と、より良い労働条件の保全 5)五感を育む保育</p>
2	期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）
	<p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>協調性があり、考えて行動ができる人間。 人に対して、思いやりの気持ちを持てる人間。 スキルアップをしようと努力している。</p>
	<p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもにとって、何が良いのかを一番に考えられる保育をする。 人の話を聞く姿勢を持つ。</p>

調査日時点の利用者の全世帯を対象とした。子どもの総数は149名、世帯数は120世帯である。

調査対象

調査票と返信用封筒の配布を事業所に依頼した。回答後、利用者より評価機関宛てに直接郵送してもらった。

調査方法

利用者総数	149
利用者家族総数(世帯)	120
共通評価項目による調査対象者数	120
共通評価項目による調査の有効回答者数	78
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	65.0

利用者調査全体のコメント

78名の回答があり、回答者割合は7割弱であった。総合的な園の感想として「大変満足」が42名、「満足」が32名と、有効回答数の9割強を占める結果となっている。

自由意見では「先生たち、職員の皆様が、子どもたちのことを本当に良く考え保育をしてくれていると感じています。子どもにとってなくてはならない場所です。保護者も大変頼りにしています」「いつも大変お世話になっております。子どもは保育園に通うのを毎日楽しみにしていて、迎えに行っても「まだ遊びたかった」と話す程です。年齢に合った遊びで変化があったり、お散歩もたくさん行き先があつて、とても良い刺激になっています」「季節ごとの行事を大切にしてください、また保育園で提供される食事も本当に素晴らしい食事で、子どもにとっても有難い環境に日々感謝しております」などのコメントが多くあった。

意見・要望として「英語教育プログラムを導入して欲しいです」「もう少し、園からの発信など、ホームページ更新があってデジタル化するといいのかともと思いました」「たまに連絡事項の不伝達が見られます」などが出ていた。

利用者調査結果

共通評価項目	実数			
	はい	どちらともいえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	74	3	1	0
9割強の方が「はい」と回答している。「保育者の方々や他のお子さんとの関わりを日々楽しんでいるようである」「ただ保育をするだけでなく、季節のイベントの意味や、毎日の当番での責任感など、沢山大事なことを教えてくれます」などのコメントがあった。意見・要望として「園庭がないため、午前中は散歩に連れて行って頂いているが、雨の日や午後は室内で、体力が有り余っている。運動不足」などが出ていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	73	5	0	0
9割強の方が「はい」と回答している。「絵の具などを使った製作を時々やってもらっていて、子どもに良い刺激になっていると思う」「毎日習ったことを嬉しそうに教えてくれたり、習った歌と一緒に歌ったりします」「とても楽しく過ごしているようです」などのコメントがあった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	76	2	0	0
9割強の方が「はい」と回答している。「家では手間がかかり毎日は作れないメニューが、毎日出るので参考にしています」「食物アレルギーがある子どもの給食も、できるだけ他の子と同じように作って下さるので、「みんなと同じ物が食べられる」と喜んでいます」「保育園ではとてもよく食べるようです。手づくりおやつも有難いです」などのコメントがあった。意見・要望として「残したもののは理由を教えてほしい」「おやつ果物が毎日、ほほりんご」などが出ていた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	72	5	0	1
9割強の方が「はい」と回答している。「天気の良いときは、散歩や公園に連れて行ってもらっていて、ありがたい」「園庭はないですが、毎日公園めぐりなど工夫してくれています」「ほぼ毎日お散歩に連れて行って下さり、交通ルールや、公園でのマナーなど、しっかりと身に付いているようです」などのコメントがあった。意見・要望として「十分かどうかは不明」などが出ていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	69	7	0	2
9割弱の方が「はい」と回答している。「急な残業でも対応して頂きとても助かっています」「身内のサポートがあるのですが、事情を聞いて対応頂いています」などのコメントがあった。意見・要望として「ほぼ対応して頂いている。Tel入れたのに連絡がくることあり伝わっていないことあり」「急な残業だと補食が確保されない」などが出ていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	49	20	8	1
6割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「送迎時のケガはしたことがないのですが、第一分園の階段が夕方暗い時や雨の時は危なく感じることもあります」「布団が積まれていたり、棚が倒れそうに見えます」「たまに入り口のロックができないときがあるようです」などが出ていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	68	8	1	1
9割弱の方が「はい」と回答している。「大変すぎず、物足りなすぎず、ちょうどよいです」などのコメントがあった。意見・要望として「色々保護者、園児の負担を考慮して頂き助かっていますが、バザーが今年最後なのは残念でした」「今年から保護者会の開催時間が早まり、参加にくくなったり」「お知らせが急すぎると感じること多々あります」などが出ていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	60	13	4	1
8割弱の方が「はい」と回答している。「担任だけでなく、先生みんなが我が子を気にかけてくれます」「先生方の笑顔がとても子どもへの关心を持って頂けていると感じます」などのコメントがあった。意見・要望として「信頼関係はありますが、時間がないようで話せる機会が少ないです。ノートがあれば書けるのですが」「お迎えの際に、その日の体調や様子をよく伝えてもらっていることが多いが、体調のみ伝えてもらう日もあるので、一言でもいつどんな様子だったかなど伝えてもらえるとよりありがたい」などが出ていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	72	6	0	0
9割強の方が「はい」と回答している。「施設自体は新しくはありませんが、トイレや水場も清掃が行き届いていて、子どもたちが安心して使っているように思います」「第一分園はリフォーム後、とても使いやすくキレイになりました」「いつも用務の先生が丁寧に清掃してくださっているのを見かけます」などのコメントがあった。意見・要望として「整理はされている。古いわりにキレイにされている。トイレは恥ずかしさが出てきているので目隠しは必要」などが出ていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	66	9	3	0
8割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「電話の対応が良くない時(先生)がある」「事務的な方がいます」「職員の気分が顔に出ているときがあり、声をかけづらいときがある」「口調がきつい先生がいるので少し気になります」などが出ていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	66	7	4	1
8割強の方が「はい」と回答している。「子どもの体調が悪くなったとき、細かく様子を見て、私たち保護者に伝えて下さっていると思う」「看護師の先生が日頃からよくコミュニケーションを取って下さっているため、けがや体調不良の時にも、きちんと状況を把握して下さっています」などのコメントがあった。意見・要望として「吐物、出血時のとっさの時でもまず手袋をすることを徹底して欲しい。鼻汁を拭いたティッシュをエプロンポケットに入れてたので、拭いたらすぐにゴミ箱へ、そして手を洗うなり、消毒をして欲しい」などが出ていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	54	14	3	7
7割弱の方が「はい」と回答している。「他人のおもちゃをとったりした際などいけないことはしっかり言い聞かせて下さっています」「その時の対応は見ることがない為、わからない」などのコメントがあった。意見・要望として「子どもがたたかれた、かまれたという事があつた時に誰がやつたという事をこちらに知らせなくても良いが、相手の保護者に対し何度もそういう事をしている場合も指導がないそなうなので、そういう習慣のある子には指導して欲しい」などが出ていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	67	9	1	1
9割弱の方が「はい」と回答している。意見・要望として「一人ひとりを細かく見るのは大変なのかと。恥ずかしがりやのうちの子より、積極的な子に目がいっていないか心配」「状況によりけり」「先生によってばらつきがあり、対応してくれない先生もいらっしゃいます」などが出ていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	63	10	1	4
8割強の方が「はい」と回答している。意見・要望として「本人が気にかけていることを、分かりやすく声に出されたりしている様子」「あまり気にせず聞いてきます(特定の先生です)」などが出ていた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	60	15	3	0
8割弱の方が「はい」と回答している。意見・要望として「あまり説明はされないことが多いです」「先生によってその日の子どもの状況を理解していない方もおり、こちらが説明を求めた事に答えられない方がいる」「説明は分かりやすく、何ができるいて、何が不得意etc1日の様子がもっと詳しく知りたい」「元気に過していました」以外の言葉がほしい」などが出ていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	59	13	1	5
8割弱の方が「はい」と回答している。「現在不満に思っての相談等はしたことがないのですが、話を聞いてアドバイス等してくださるで大丈夫だと考えています」などのコメントがあった。意見・要望として「歯型がくつきりする程かまれたが、相手の親に伝えない事が不満」「問い合わせに対する返答がないこともあります、連携がとれていないのかなと思うこともある」などが出ていた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	33	22	8	15
4割強の方が「はい」と回答している。「そういった場面がなかった」「今まで困ったことがなかったです」などのコメントがあった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1~5、7)

No.	共通評価項目													
	カテゴリー1													
1	リーダーシップと意思決定													
サブカテゴリー1(1-1)														
事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況												
		7/7												
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している														
評点(○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
● あり ○ なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当												
● あり ○ なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている														
評点(○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
● あり ○ なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	<input type="radio"/> 非該当												
● あり ○ なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している														
評点(○○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th><th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th><th style="text-align: center; padding: 2px;"></th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">● あり ○ なし</td><td style="padding: 2px;">3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている</td><td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td></tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		● あり ○ なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当	● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
● あり ○ なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当												
● あり ○ なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	<input type="radio"/> 非該当												
● あり ○ なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	<input type="radio"/> 非該当												
カテゴリー1の講評														
<p>第二分園を新園として独立させ、幼児クラスの本園と、乳児クラスの第一分園に再編した 法人理念を本園・分園の各事務室に掲示して、職員に周知している。また、環境対策への取り組みに力を入れており、「電気をこまめに切る」、「水を無駄使いしない」、「紙を大切に使う」などの具体例を挙げて掲示している。園の保育目標、年齢別の保育目標を、入園のしおりに記載しているほか、園のホームページにて対外的に公開している。重要事項説明書は、園玄関でも閲覧することができる。昨年度までの第二分園を新園として独立させ、幼児クラスの本園と、乳児クラスの第一分園に再編した。</p> <p>園長と本園・第一分園の主任が集まる主任会議を毎月開催している 経営層をはじめ職員の役割と責任は、園規則で明示しているほか、組織表、職務分担表で明確にしている。また、経営層の役割は、法人内職員向けの職員報「やまぶき」でも伝えている。組織として、園長の下に本園・第一分園ごとの主任、保育リーダー、クラスリーダーをしている。本年度の初めに、園長・主任が交代となった。職員会議、リーダー会議、幼児・乳児会議、アレルギー会議、クラス会議の参加者・開催頻度を明文化している。それぞれ本園・第一分園別に開催している。園長と本園・第一分園の主任が集まる主任会議を毎月開催している。 法人園長会議・主任会議を中心に、法人内統一のマニュアル作りに取り組んでいる 運営に関する重要な事項は、法人内の各保育園の責任者が集まる園長会議で討議している。そのほか法人内の他園と合同で主任、看護師、栄養士など職種別に定期的に集まり、共通の課題に取り組んでいる。法人園長会議・主任会議を中心に、法人内統一のマニュアル作りに取り組んでいる。法人内の決定事項は、本園・第一分園ごとに開催されるリーダー会議、職員会議において伝達・周知している。パソコン内に共有フォルダを作成し、職員間の連絡事項や法人内の他園の情報を共有できるようにしている。</p>														

カテゴリー2																								
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行																								
サブカテゴリー1(2-1)																								
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6／6																						
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している 評点(○○○○○○)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 事業所の経営状況を把握・検討している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当																						
サブカテゴリー2(2-2)																								
実践的な計画策定に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5																						
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している 評点(○○○)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当																						
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる 評点(○○)																								
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当												
評価	標準項目																							
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当																						
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当																						
カテゴリー2の講評																								
職員会議を土曜日の行事にも開催し、より多くの職員の声を聞けるようになった 福祉サービス第三者評価を平成17年度より連続して受審している。保護者アンケートの結果は、職員に開示し、会議で改善策を検討している。今回の保護者アンケートでは回答者のほぼ全員の方が満足感を示されていた。行事後にアンケートをとって保護者の感想や意見を把握し、翌年の計画に活かすようにしている。職員の意向は、第三者評価の職員自己評価や、園長・主任との個人面談などから把握している。職員会議を土曜日の行事にも開催するようにしたことにより、参加者が増え、より多くの職員の声を聞けるようになった。																								
職員の育成を図るためにこれまで試行であった人事考課を今年度から正式導入している 中長期の計画は、理事会を中心に検討している。子育てニーズに対応して保育園の数を増やしており、法人内の職員が増えしていく中、職員の育成を図るために人事考課を試行していたが、今年度から正式に導入している。年度の事業計画は、行事などについて職員の意見を聞いた上で園長が中心となり立案している。様々な係りを設置し、職員が協働して課題の達成に向けて取り組んでいる。新人職員も経験のある職員と組ませて担当させる。パソコン内に行事ごとにフォルダを作成し、今年度の内容と反省を記録して翌年の担当者に引き継いでいる。																								
第二分園を独立させたことに伴い、第一分園内の環境整備に取り組んだ 予算の執行状況は、園長・事務長が確認し、必要に応じて補正予算を組んでいる。第二分園を独立させたことに伴い、第一分園内の環境整備に取り組んだ。また、本園ではエアコンの更新、幼児トイレの仕切りの設置、パソコンの増設に取り組んでいる。園長を中心として地域の福祉ニーズに関する情報収集や、行政や業界などの動向の把握・分析を行っている。必要に応じて諸会議での情報提供を行っている。																								

カテゴリー3			
3 経営における社会的責任			
サブカテゴリー1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2	
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるように取り組み、定期的に確認している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4	
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある	<input type="radio"/> 非該当	
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5	
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる	評点(○○)		
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当	
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当	

評価項目2
地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

地域の子育て家庭を対象の「どんぐり通信」を毎月発行し、幅広く情報提供を行っている

就業規則において服務の章を設けて、職員の守るべき規範や倫理などを明示している。法人としてプライバシーマークの取得に取り組み、子どもや保護者に関する情報の取り扱いについて様々な仕組みを取り入れている。職員は守秘義務について誓約書を提出している。平成17年度より継続して第三者評価の受審に取り組み、開かれた組織づくりに努めている。地域の子育て家庭を対象の「どんぐり通信」を毎月発行し、幅広く情報提供を行っている。園のホームページでは、多くの写真を用いて園の詳細を公開している。

保護者からも声を掛けてもらえるよう、職員紹介の掲示を一年中行っている

苦情解決の仕組みを明示している。目的、受付担当者・解決責任者、第三者委員の氏名と連絡先、解決の方法などを記載し、保護者に説明している。苦情解決の第三者委員として、弁護士1名と地域の代表として各町会長2名に委嘱している。このほか日々の保護者からの要望は連絡帳や直接保育士を通じて収集している。本園・第一分園とともに、保護者からの意見や要望を収集するため、意見箱を設置している。保護者からも声を掛けてもらえるよう、職員紹介の掲示を一年中行っている。

地域の子育て家庭を対象とした親子リトミック、親子体操を行っている

夜8時半までの延長保育、一時保育、病後児保育、子育て相談などに取り組んでいる。本園の近くに同法人のホールがあり、在園児が使用するほか、地域の子育て家庭を対象とした親子リトミック、親子体操を行っている。また、給食体験、楽しくあそぼう会も行っている。ボランティアは、中・高校生の職場体験を中心に受け入れている。職員が地域消防団に入団したり、地区合同災害訓練、地区運動会、夜回り、町会新年会などにも参加している。

カテゴリー4

4 リスクマネジメント

サブカテゴリー1(4-1)

リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる	サブカテゴリーワークの 標準項目実施状況	5/5
-----------------------	-------------------------	-----

評価項目1

事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4／4	
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		
評点(○○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・管理している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー4の講評		
様々なシナリオを想定した避難訓練を、毎月、予告無しで行い万一に備えている 火災・地震について様々なシナリオを想定した避難訓練を本園・第一分園ごとに実施している。月に1回、予告無しで訓練を行い万一に備えている。地震発生時のマニュアル、不審者対応のマニュアルを整備している。BCP(事業継続計画)を早くから策定しており、日々の訓練に取り入れている。通院を要する事故は事故状況発生報告、通院しなくともよい怪我などはヒヤリハット報告に記録している。事故発生時には原因の分析と再発防止策を検討して記録している。ヒヤリハット報告を集計し、職員会議で確認して事故の予防につなげている。		
子どもや保護者に関する機密性の高い情報は、施錠のできる場所で保管している ビル内に位置している第一分園においては、施錠の徹底や防犯カメラ・カメラ付インターフォンなどを設置している。本園にも複数台の防犯カメラを設置している。AEDを導入し、消防団に参加している職員は上級、その他の職員は普通救命救急の研修を受講している。子どもや保護者に関する機密性の高い情報は、他の保護者の目に触れることのないよう、施錠のできる場所で保管している。法人としてパソコン上の共有フォルダを活用し、書式、会議録などのデータを共有している。		
法人内で統一の保育ソフトを導入し、計画・記録類のICT化を進めている 法人で個人情報保護規程を制定し、職員内に周知を図っている。常勤・非常勤職員ともに、守秘義務に関する誓約書を提出させている。法人としてプライバシーマークの取得に向けて、様々な取り組みを行っている。連絡ノートは日中人目につかないところに保管した後、返却は手渡しで行っている。個人情報やプライバシーに関する書類は、園外への持ち出しを禁止している。取引業者などに対しても守秘義務を徹底している。法人内で統一の保育ソフトを導入し、計画・記録類のICT化を進めている。		
カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12／12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		
評点(○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4

職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる

評点(○○○○)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と待遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

組織力の向上に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の
標準項目実施状況

3／3

評価項目1

組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に
取り組んでいる

評点(○○○)

評価	標準項目	
◎あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	<input type="radio"/> 非該当
◎あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー5の講評

等級制度を導入し、等級別の職務内容を一覧にして配布している

園の人事制度に関する方針は、就業規則に記載している。職員の採用は法人で行っている。保育士フェアなどへの参加、学校への公募、ホームページを通じてなどから募集している。給与表を改善して初任給を引き上げたことにより、新入職員の予定数の確保をすることができた。職員配置は園長を中心に主任会議で検討し決定している。施設間の異動希望は事前に聞いている。等級制度を導入し、等級別の職務内容を一覧にして配布している。これまで人事考課の試行を行ってきたが、今年度から本格施行となった。

リーダー層のキャリアアップ研修を優先的に参加させている

職員の育成として、法人内合同で、新入職員研修、主任研修を行っている。園内研修として、本園では外部講師を招いて室内環境について学ぶ予定である。第一分園では栄養士による離乳食についての研修を行った。看護師を講師に、おう吐・下痢の処理、アレルギー対応の研修も行っている。外部研修にも積極的に参加させ、園内で報告の機会を設けて知識の共有を図っている。リーダー層のキャリアアップ研修も優先的に参加させている。職員を指導する立場のリーダー層の育成を図っていきたいと考えている。

年5回の子育て支援休暇制度など、子育てしながらでも働きやすい環境を整えている

リーダー層以上の職員は360度評価により一般職員を含む全職員から評価を受け、その結果から来年度のポジションを見直す。人事考課を行うため、リーダー層は担当する職員の観察記録ノートを記入している。義務教育の子どもいる職員には学校行事等に対応するため年5回の子育て支援休暇制度を設けるなど、子育てしながらでも働きやすい環境を整えている。若手職員への住宅借上げ制度を拡充している。フリーの職員を配置できたことにより、残業の削減や休暇の取得促進が図ることができた。

カテゴリーカテゴリー7	
7	事業所の重要課題に対する組織的な活動
サブカテゴリーサブカテゴリーカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ) 昨年度末に第二分園を新園として独立させ、幼児クラスの本園と、乳児クラスの第一分園に再編することになった。第一分園では、保育室の構成を変更するための工事を行った。さらに室内環境の見直しについて職員間の意識を高めるために、園内研修を行った。	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていないかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評 本園園舎の老朽化が進んでいることもあり、今年度も引き続き修繕に取り組んだ。エアコンの更新を行い、幼児トイレの仕切りの設置を行う予定である。幼児クラスでは4歳児の人数が多いため、毎年度、子どもの数に応じて保育室の変更を行い、それに合わせて室内環境を見直していく意向である。	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

行事の見直しに取り組んでいる。見直しに当たっては、それぞれの行事の狙いは何かを確認している。低年齢の子どもの負担や、衛生面も考慮して、運動会は半日の開催とし、パン食いの競技をなくした。父母会とも話し合いながら見直しを進め、概ね好評であった。

目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていないかった(目標設定を行っていないかった場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

今回の職員自己評価では、職員の業務負担の軽減について要改善点に挙げる声が複数聞かれた。園としてもこうした観点からも、各行事について内容の見直しに継続して取り組んでいく意向である。

II サービス提供のプロセス項目(カテゴリー6-1～3、6-5～6)

No.	共通評価項目																
	サブカテゴリー1																
1	サービス情報の提供	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4															
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している																	
評点(○○○○)																	
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center; padding: 2px;">評価</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;">標準項目</th> <th style="text-align: center; padding: 2px;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; padding: 2px;">◉あり ○なし</td> <td style="padding: 2px;">4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している</td> <td style="text-align: center; padding: 2px;"><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		◉あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	◉あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																
◉あり ○なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当															
◉あり ○なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものにしている	<input type="radio"/> 非該当															
◉あり ○なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当															
◉あり ○なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当															
サブカテゴリー1の講評																	
<p>ホームページやパンフレットなどを用意して、必要な情報を得られるようにしている</p> <p>園のホームページを開設し、利用希望者に情報を提供している。ホームページでは、施設案内、保育目標、デイリープログラム・年間行事、園の様子、お散歩マップ、手作り給食などを、写真やイラストを取り入れて詳しく紹介している。また、一時保育、病後児保育、子育て相談などについても掲載し、園に書類を取りに行かなくてもすむように、ホームページから利用申込書を印刷できるようにしている。園のパンフレットやしおりなどを作成している。見学者には、パンフレット用いて説明を行っている。</p> <p>区や関係機関とは連携しており、園の情報は都度提供している</p> <p>子育て情報誌「どんぐり通信」を毎月発行している。保護者のほかに、来園者や近隣の保育園・幼稚園、地域の小・中学校にも配布して、園の情報を提供している。地域の子育て支援事業のお知らせは、園内や町会の掲示板に掲示して、参加を募っている。区の担当課など、行政や関係機関と連携をとっており、園の情報についてはその都度提供している。区のホームページなどで、園の基本的な情報を公開している。</p> <p>問い合わせや見学は随時受付け、見学については時間を設定して対応している</p> <p>利用希望者の見学や問い合わせについては、本園・分園ともに主任保育士・リーダーの職員などが対応している。見学の趣旨を丁寧に確認して、疑問点を解消できるよう説明している。見学の時間帯は園で設定している。それ以外の時間帯でも、見学したいとの要望があれば随時対応している。園は2ヶ所に分散し、0・1・2歳児(第1分園)、3・4・5歳児(本園)と建物ごとに分けている。そのため対象児園だけでなく、卒園までの生活の場になるため、本園・分園ともに案内している。</p>																	

サブカテゴリー2		
2 サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	6 / 6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		
評点(○○○)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2の講評		
入園時に子どもの状態や家庭の状況などを聞き取り把握している 入園決定後園に書類を取りに来てもらい、今までの生活時間、食事・健康状況、緊急連絡先など、必要な情報を児童票に記入してもらう。入園式前に説明会を実施し、その後健康診断を行う。面接では、担当職員が保護者の意向、子どもの状態、家庭での状況などを聞き取り、面接表に記録する。0歳児やアレルギー・病気を持つ子どもに対しては、看護師・栄養士が個別に聞き取り、状態を把握している。基本的なルールや重要事項は、入園のしおりを用いて本園・各分園の担当者・担任から、入園式後の保護者会で詳しく説明している。		
入園直後は子どもの不安やストレスを軽減するため、保育時間を調整している 入園直後は1週間程度の慣らし保育を実施しており、子どもが新しい環境に慣れることができるよう配慮している。保護者の就労状況や個別の状況に応じて、可能な範囲内で協力を願っている。		
卒園児が参加できる行事を行う等、支援の継続性に配慮している 引っ越しや転園先のことで不安が出てくることが考えられるため、退園する際には保護者との連携を密に取るようにしている。子育て講座、子育て相談などを利用できることを伝え、支援の継続に努めている。行事のお知らせや保護者同士のつながりで、園行事に子どもと保護者が参加することもあり、子どもとのつながりを切らさないようにしている。夏に収穫するジャガイモの苗を卒園前に植え、成長した頃に卒園児に招待状を送って皆で収穫し、調理して食べている。		

サブカテゴリー3																				
3 個別状況の記録と計画策定	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12 / 12																		
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している 評点(○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当						
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目2 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している 評点(○○○○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直している	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している 評点(○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしきみがある	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当																		
評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している 評点(○○)																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																			
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当																		
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当																		

	サブカテゴリー3の講評													
日誌や児童票などに子どもの発達の状況を記録して把握している 各種計画は、各クラスの担任が打ち合わせをして作成している。個別の月間指導計画(月案)には前月の子どもの様子を記入し、その反省・考察から、今月の目安、配慮する事項、援助内容を導き出している。子どもの日頃の様子を把握して、計画に反映している。毎日の状況は、クラスごとの日誌に記録し把握している。子ども一人ひとりの発達の経過を、児童票の発達記録表に記録している。乳児では言語・認識・手指・身体・食事・排泄・睡眠、幼児は人間関係・環境・言葉・表現など項目別に分け、確認月を記録して把握している。														
乳児や障がい児は、毎月個別に計画を作成して保育にあたっている 乳児、障がい児には個別に、幼児では年齢毎に月案を作成している。週の予定はクラス毎にホワイトボードに記入して、保護者に伝えている。看護師・栄養士・担当職員によって作成と見直しを行っている。緊急に計画を変更する際には、リーダー会議を開き、検討結果を計画に反映させている。毎月行うリーダー会議や職員会議で報告し、他の職員にも周知を図っている。年2回開催している保護者会や春・秋の年1回行う個人面談などで、保護者の意向や要望を聞き取っている。														
計画・記録類のICT化が進んでおり、パソコンで管理を行っている 業務負担の軽減を図る為、法人全体で計画・記録類のICT化が進んでいる。日誌・計画等の記録類をデータ化している。職員会議・リーダー会・各クラスの打ち合わせなどを行い、職員間で情報の共有を図っている。保育ソフトを使って登降園の管理ができる、その中で伝達事項も記入できるようになっている。また、延長保育日誌、職員用の伝達ノートなどを活用し、職員間で伝達漏れのないよう努めている。														
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5												
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している														
評点(○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 80%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している														
評点(○○○)														
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">評価</th> <th style="width: 80%;">標準項目</th> <th style="width: 15%;"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目													
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当												
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当												
	サブカテゴリー5の講評													
個人情報を取り扱いについては、入園時に説明を行い理解を得ている 個人情報の取り扱いについては、入園時の説明会にて詳しく説明している。また、法人として個人情報保護規程を策定している。他機関への情報提供、ホームページやパンフレットなどへの写真の掲載、公の目に触れる書類などで情報を開示する場合には、その都度保護者に使用の承諾を得るようにしている。不都合のある場合には、前もって連絡してもらうよう伝えている。職員には、保育で知り得た情報を外部に漏らすことがないよう誓約書を提出することを義務付けている。														
子どもの年齢や発達に合わせた支援を心がけており、羞恥心などにも配慮している 子どもの羞恥心に配慮した支援として、排泄の失敗の際には、他の子どもに気づかれないよう対応している。プール遊びには水着を着用し、プールにはよしずを立てて外部から見えないようにしている(本園)。乳児のおむつ交換時には、視界に入りにくい場所におむつ台や場所を設定している。														
虐待の情報を得た場合には、関係機関と連携して対応できるようにしている 虐待の疑いのある子どもの情報を得た場合や事実を把握した際には、会議などで情報共有し、速やかに園長に報告し、状況によって関係機関に連絡をすることとしている。また、外部研修に参加するなどして、職員間で共通理解を深めている。区の担当課や児童相談所などの関係機関との連携体制を整えている。虐待防止や育児困難家庭の支援に向けて、マニュアルを整備している。														

サブカテゴリー6															
6	事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5／5												
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている 評点(○○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当													
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている 評点(○○)															
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>				評価	標準項目		●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当			
評価	標準項目														
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当													
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当													
サブカテゴリー6の講評 <p>マニュアルや会議、研修などで、業務の基本事項や手順の周知を図っている 法人内で「事故ガイドブック」を作成しており、毎月チェックを行う等して安全に配慮している。業務の基本事項や手順については、会議や研修を利用して職員全体に周知させている。園内では行事マニュアル、地震発生時マニュアル、不審者対応のマニュアル、防災マニュアル等を作成している。サービスの基本事項や手順等は、保育リーダー、クラスリーダー、乳児・幼児リーダー、主任保育士や園長等が確認を行い、必要があれば助言・指導等を行っている。</p> <p>法人内の会議を通して、情報を共有したり共通の課題に取り組んでいる 法人内の他園と合同で、主任、看護師、栄養士等が職種別に定期的に集まり、情報を共有したり共通の課題に取り組んでいる。法人統一のマニュアルの作成にも取り組んでいる。事故発生時には原因の分析と再発防止策を検討して記録している。ヒヤリハット報告書はクラス毎に集計を行い、職員会議で取り上げている。口頭や連絡帳、第三者評価の利用者アンケート等で保護者から寄せられた意見・要望等は、職員間で見直したり、話し合うことで確認し、次年度の計画に反映するようしている。</p>															

III サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35／35
1評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(○○○○○)		
評価				標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし				6.【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している
評価項目1の講評				
一人ひとりの生活環境や発達過程を把握し、職員間で情報共有しながら保育を行っている 子ども1人ひとりの生活環境や発達過程は、児童票の発達記録表に記録している。園での様子は各クラスの日誌に記録するほか、乳児(0～2歳児)は個別の連絡ノートで家庭と園での情報を交換している。複数担任制で子どもの状態を把握し、個別記録・引継ぎノートの確認、各クラスの打ち合わせ、職員会議でも職員間で情報を共有し把握している。年長児の就学に向けては、保育要録を作成して小学校へ引き継ぐ。年長児が小学校の見学・体験をしたり一緒に給食を食べるなど、小学生との交流を図っている。				
保護者や関係機関と連携し、特別な配慮が必要な子も一緒に成長できるよう支援している 0歳児・1歳児は月齢別、2歳児は混合で少人数グループに分かれて活動し、子ども1人ひとりに応じた細やかな保育に努めている。障がい等で特別な配慮が必要な場合は、必要に応じて担当職員を配置する。保護者の意向や専門家の助言を取り入れて個別計画を作成し、他の子どもと一緒に過ごしている。発達支援センター等の関係機関と連携を図り、保護者の了承の下で園での子どもの様子を見てもらい助言を受けるなど、情報を共有しながら援助している。				
園生活の中で友達との関わり方や伝え方を学び、互いを尊重できるように支援している けんか・かみつき等の子ども同士のトラブルは、園に責任があると考えて、その旨を保護者に伝えている。年齢により様々なトラブルがあるが、クラスごとに話し合い、解決策を導き出している。5歳児クラスは子ども同士で解決できるように、個別に話し合いの場を設けている。話し合いの後は、担任が双方から話を聴き、納得できるようにフォローする。友達との関わりや感情・意思の伝え方などを園生活の中で学べるように、遊び・行事・異年齢交流・当番活動などを通して支援している。				

2評価項目2

子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている

評点(○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2の講評

登降園時のやりとりや連絡ノート、クラスの掲示等で保護者との情報共有を図っている

登園時は視診や声かけをして子どもの様子を確認し、乳児は連絡ノートでも子どもの状態を把握している。補食の有無や連絡事項など、保護者から聞いた内容はパソコン内の登降園管理システムに記録し、職員間で情報を共有している。0歳児は保育中の体温、食事・水分の摂取量、排泄・睡眠の時間などを日課表に記録し、連絡ノートに転記して保護者に伝えている。幼児(3~5歳児)は各クラスで活動内容や子どもの様子を記載したプリントを掲示している。

基本的な生活習慣が身に付くように、看護師や栄養士による指導を取り入れている

基本的な生活習慣は、子ども1人ひとりの発達に応じて個別に支援している。0歳児から自分でできることを支援し、着替え・食事マナー等も生活の中で習慣になるよう支援している。オムツからパンツへの移行は、園と家庭での様子を保護者と確認し合いながら進めている。また、年齢に応じて手洗い・歯磨き等の保健指導や箸の持ち方などの栄養指導を取り入れている。5歳児は就学に向けて生活リズムを整えて、椅子に座り活動する時間を増やし、時間を意識して行動するように働きかけている。

子どもの年齢や体調等に配慮しながら午睡時間を設定し、生活リズムを整えている

月齢や年齢に合わせて午睡時間を設定している。0歳児は個人差があり、睡眠・授乳は個別に対応している。保育室を仕切り2つのグループに分けて、休める場所を設けている。4歳児は午睡の時間を徐々に短くしている。5歳児は年度初めから午睡を無くし、就学に向けて生活リズムを整えている。睡眠不足や体調によって休息が必要な場合は、4歳児の保育室で一緒に休むようにしている。

3評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(○○○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるように視点を取り入れている	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	<input type="radio"/> 非該当																					
評価項目3の講評																							
<p>子どもの発達状況に合わせた玩具の選定や保育内容の工夫を行い、成長を促している</p> <p>玩具計画を作成し、月齢や季節に応じた玩具・絵本を定期的に入れ替えている。子どもが自ら玩具選び、好きな場所で遊び込めるように遊びのコーナーを設置している。乳児は手先を使って遊ぶ手作り玩具も取り入れている。子どもの成長に合わせて、ひとつ上のクラスの玩具で遊ぶなどの配慮もある。言葉の感覚を養うように、乳児が周囲へ興味を持つような保育士の話しかけ方を意識して、子どもの言葉を引き出すように心がけている。幼児は入前で話す機会を設けたり、ボランティアによる絵本の読み聞かせを取り入れている。</p>																							
<p>様々な表現活動を楽しめるよう外部講師による歌・体操・造形等の教室を取り入れている</p> <p>幼児(3~5歳児)は本園、乳児(0~2歳児)は分園で活動している。対象年齢を決めて、外部講師によるリトミック・歌・鍵盤ハーモニカの教室を定期的に実施している。その他、体操・造形・図碁の教室もあり、様々な表現や人との関わりを楽しめるように取り組んでいる。幼児は子どもの主体性・自主性を育む当番活動があり、給食の配膳、生き物の飼育などの役割を担う経験を積んでいる。5歳児は地域の清掃やリサイクル活動等も行っている。</p>																							
<p>畠での野菜栽培や遠足など、自然に触れられる戸外・園外活動に積極的に取り組んでいる</p> <p>園庭はないが近隣に公園が多く、天気が良ければ毎日外に出かけている。戸外活動は自然に触れられるように場所を選定し、園の畠では子どもたちが野菜を育て収穫している。園外保育として、5歳児クラスは田植え・稲刈りや都外宿泊体験等を実施している。他のクラスも年齢に応じてザリガニ釣りや動物園・水族館、大きな公園等に出かけ、園ではできない体験をしている。1歳児クラスはリュックサックを背負い公園に出かける「遠足ごっこ」をして、次年度の遠足に備えている。夏期は0・1・2歳児は湯遊びを行い、3・4・5歳児はプール遊びをしている。</p>																							
4評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(○○○)																					
<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>標準項目</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> <tr> <td>●あり ○なし</td> <td>3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている</td> <td><input type="radio"/> 非該当</td> </tr> </tbody> </table>			評価	標準項目		●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当	●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当									
評価	標準項目																						
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	<input type="radio"/> 非該当																					
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	<input type="radio"/> 非該当																					
評価項目4の講評																							
<p>劇遊びやお店屋さんごっこなど、子どもが主体となって取り組む行事を実施している</p> <p>親子遠足・都外宿泊保育・運動会・劇遊び・お楽しみ会・お店屋さんごっこ等の行事のほか、毎月誕生会を行っている。劇遊びは幼児の各クラスが劇や合唱・合奏を発表する。お店屋さんごっこは幼児クラスがお店を出し、乳児クラスも参加し売り手と買い手に分かれて楽しむ。劇遊びの配役、お店屋さんごっこの店や商品などは、子ども同士の話し合いで決めている。運動会は全園児で行い、幼児は目標に向けてみんなで協力し、達成感を味わえるように取り組んでいる。</p>																							
<p>行事の予定や取り組みの様子などは、各種おたよりや連絡ノート等で保護者に伝えている</p> <p>年度初めに年間行事予定表を保護者に配布し、親子遠足・運動会・劇遊び等の保護者が参加する行事は土曜日に開催している。行事の目的や取り組みを、園だより・連絡ノート・各クラスのホワイトボード等で保護者に伝えている。親子遠足や劇遊びの後にはアンケートを実施し、保護者の意見・感想を聞いている。0歳児クラスは遠足の代わりに親子交流会を開催している。月齢別グループに分かれて、手遊び等で親子の親睦を深め、保護者同士の交流を図り、給食の試食会を行っている。</p>																							

5評価項目5

保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(○○)

評価		標準項目
●あり	○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている
●あり	○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている

評価項目5の講評

年齢や発達状況に配慮し、安全に落ち着いて過ごせる環境の整備に努めている

本園と第一分園があり、幼児(3~5歳児)と乳児(0~2歳児)に分けて2か所で保育を行っている。各園で子どもの月齢・年齢・発達に応じた玩具や絵本を用意している。第一分園は乳児が安全に落ち着いて過ごせるように改修工事を行った。全面クッションフロアで冬場は各保育室に加湿器を設置している。食事と睡眠のスペースを分け、少人数グループで活動している。2歳児クラスは進級に伴い本園に移るので、環境の変化に慣れるために進級前から本園で活動する機会を設けている。

様々な関わりの中で楽しく過ごせるように、異年齢の交流の機会を設けている

3~5歳児の幼児が過ごす本園は、朝・夕方に合同保育を行っている。遊びのコーナーを設け、子どもが自分で玩具を自由に取り出し片づけることができるよう、収納場所は子どもの目線や体格にあわせて設置している。また、子どもの状況や活動内容に応じてスペースを分けて使用している。園庭がないため、室内にマットや遊具を設置し、体を動かして遊べるように工夫している。遠足・運動会・お店屋さんごっこ等の行事のほか、散歩や給食等でも異年齢の交流を深めている。

6評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(○○○○)

評価		標準項目
●あり	○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している
●あり	○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている
●あり	○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している
●あり	○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている

評価項目6の講評

今年度より法人独自の献立を作成・利用し始めた

給食は和食を中心とし、素材の味を活かす薄味で調理している。汁をとり、手作りの給食を提供している。今年度より法人独自の献立を作成・利用し始めたことで、使用する食材が増えバラエティも豊かになっている。乳児は入園前面談でミルクの量・時間・離乳食の進み具合等を確認し個別に対応している。離乳食は子どもの咀嚼力が強まり、味を知ることを重視して調理している。新しい食材は事前に家庭で試して安全を確認してから給食に取り入れる。

離乳食および食物アレルギーのある子の食事は間違いないよう職員間で確認している

食物アレルギーは、除去・代替食で個別に対応している。宗教・文化の違いで食べられない食材にも同様に対応する。献立表の該当する献立・食材に印をつけて、保育室内に掲示し毎日確認している。配膳時は子どもの名前を書いたボード、専用のトレイを使い、テーブルや食事席も他児とは分けて設置している。調理室から食事を受け取る時は、2名の職員で確認し誤食がないように努めている。離乳食についても保育室のボードに段階ごとに子どもの名前を掲示し、間違えないように配慮している。

年齢に応じて野菜の栽培やクッキング等を行い、食への興味・関心を深めている

園の畑「どんぐり畑」で主に4・5歳児が野菜を栽培している。畑を区分けてクラスごとに夏野菜などを栽培し、クッキングで収穫した野菜を使っている。3歳児はベランダで野菜栽培を行い、成長を間近で感じられるようにしている。品川蕪の栽培も行い、地元の品評会に出品している。5歳児は、田んぼを借りて田植えから稻刈りまで体験する。2歳児から簡単なクッキングがあり、年齢に応じて野菜の皮むき、さや取り、ピザ作り等を行い、食材に触れる機会を設けている。栄養士が食に関する話をしたり、箸の使い方の指導をしている。

7評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に关心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目7の講評

日頃から交通ルールや感染症予防について子どもに繰り返し伝え、意識づけている

公園の特徴や遊びの目的・危険箇所を一覧表にまとめて、子どもたちと危険な場所・行動を話し合い伝えている。園外保育や散歩が多く、公共交通機関の利用方法・マナー、信号機の見方、横断歩道の渡り方等を繰り返し説明している。感染症の予防は洗面所に手洗い方法のイラストを掲示し、看護師を中心に子どもに手洗い・うがいを指導している。石鹼は泡タイプのものを使用し、ペーパータオルを設置している。3歳児クラスは年度途中に歯磨き指導をしている。

子どもの健康状態を把握し、必要に応じて適切な対応ができる体制を整えている

アレルギーや病気を持つ子どもには、入園時に看護師・栄養士・保護者で個別面談を行い、病気の状態、治療状況、必要な配慮等を話し合い把握している。薬の預かりは原則行わないが、主治医が必要と判断した場合は、医師の与葉依頼書の提出を受けて対応する。感染症や傷病の対応マニュアルがあり、傷病に速やかに対処する体制を整えている。0歳児は月2回園医の診察があり相談にも応じている。

健康管理・感染症等の情報は、保健だよりや園内掲示により保護者に知らせている

健診結果・身体測定値・予防接種等の個人情報を健康カードに記録して把握し、保護者にも知らせている。毎月保健だよりを発行し、感染症や健康管理に関する情報を保護者に提供している。感染予防対策は看護師の指導のもと、手洗い・うがい・消毒・室温管理等の徹底を図っている。園内で感染症が発生した場合は、玄関と各クラスの掲示板に最新情報を掲示し、保護者に注意を促している。乳幼児突然死症候群(SIDS)の予防として、午睡中は0歳児は5分、1・2歳児は10分ごとに顔色・呼吸・姿勢等を確認している。

8評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目8の講評

延長保育は定員を設けず20時30分まで実施し、必要な方が利用できるようにしている

延長保育を18時30分から20時30分までの2時間として実施している。延長保育は、人数制限を設けていない。保護者の就労状況に配慮して急な依頼でも柔軟に対応している。第一分園では、希望があればベビーカーを預かっている。各家庭の子育てや就労などの個別事情を把握して、保護者の立場に立った対応を心がけている。入園前の面接において入園前の生活や発達の様子を詳細に聞き取り、個別事情に応じた支援をしている。

各種行事に保護者が参加するなかで、互いに交流ができるようにしている

保護者が参加できる行事として、親子遠足、運動会、劇遊び会などがある。行事の日程は、なるべく多くの保護者が参加しやすいように、土曜日を中心設定している。行事に参加・協力するなかで、保護者同士が交流できるようにしている。交流会として祖父母と5歳児がふれあう機会も設けている。父母会が組織されており、父母会と園との共催でバザーを行っている。第一分園では、親子遠足で交流している。

保育参加・参観、保護者会、個人面談などを通して、保護者と共通認識を得ている

園での様子は、0・1・2歳児は個別の連絡ノートに、3・4・5歳児では年齢ごとに設置しているホワイトボードに、その日の活動内容や様子を掲示して知らせている。毎月の園だより・どんぐり通信、期毎のクラスだよりなどを通じて、子どもたちの様子や伝達事項を伝える。保育参加・参観と個人面談を春と秋に期間を設けて実施し、日程は保護者の都合に合わせて計画する。年2回の保護者会では園の方針や状況を伝え、保護者が抱えている共通の悩みなども気軽に語り合える場となるよう配慮し、写真やプロジェクターを使用し分かりやすく伝えている。

9評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

子どもたちが様々な人と関わることができるよう、様々な機会を設けている

地域の幼稚園との交流、卒園児との交流などを毎年実施している。近隣の小学校2校に年長児が見学・体験などで訪れており、連携を図っている。中・高校生の職場体験や実習生を受け入れている。ボランティアの読み聞かせも受け入れている。地域の子育て支援を実施しており、行事などで関わることもある。一時保育を実施しており、各クラスに入ってもらうことで、交流ができている。

行事に参加したり、奉仕・リサイクル活動などを通して地域の方と関わっている

4・5歳児は園のお神輿を担ぎ、3歳児は山車をひいて商店街を練り歩き、地域の祭りに参加している。また5歳児は地域の清掃活動に参加したり、ペットボトルのキャップを集め福祉施設に持っていくなどの奉仕・リサイクル活動を経験している。行事の餅つきでは近隣の方へ配布をしている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-4	日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している
タイトル①	様々な体験の中で子どもの成長を促せるよう、年間を通して多彩な行事を実施している	親子遠足・かっぱまつり・運動会・劇遊び・お楽しみ会・もちつき・節分・お店屋さんごっこなど、年間を通して多彩な行事を実施している。また、園外保育として、5歳児クラスは田植え・稻刈りや都外宿泊体験などを実施している。他のクラスも年齢に応じてザリガニ釣りや動物園・水族館・大きな公園などに出かけ、園ではできない体験をしている。1歳児クラスはリュックサックを背負い公園に出かける「遠足ごっこ」をして、次年度の遠足に備える。親子遠足・運動会・劇遊び等の保護者が参加する行事は土曜日に開催している。

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-6	子どもが楽しく安心して食べができる食事を提供している
タイトル②	食育として、畑での野菜栽培、田植え・稻刈り体験、調理活動などを行っている	給食は和食を中心とし、素材の味を活かす薄味で調理している。出汁をとり、手作りの給食を提供している。園の畑「どんぐり畑」では幼児が野菜を栽培している。畑を区分けしてクラスごとに夏野菜等を栽培し、クッキングで収穫した野菜を使っている。品川蕪の栽培も行い、地元の品評会に出品している。5歳児は田んぼを借りて田植えから稻刈りまで体験する。2歳児から簡単な調理活動を行い、年齢に応じて野菜の皮むき、さや取り、ピザ作り等を行い、食材に触れる機会を設けている。

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル③	地域に根差した保育園で、地域との交流の機会を多く設定している	地域の幼稚園との交流、卒園児との交流などを毎年実施している。近隣の小学校2校に年長児が見学・体験などで訪れており、連携を図っている。中・高校生の職場体験や実習生を受け入れている。ボランティアの読み聞かせも受け入れている。地域の子育て家庭を対象とした親子リトミック、親子体操を行っている。また、給食体験、楽しくあそぼう会も行っている職員が地域消防団に入団したり、地区合同災害訓練、地区運動会、夜回り、町会新年会などにも参加している。

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	様々な表現活動や当番活動を保育に取り入れ、子どもの自主性・主体性を育んでいる
	内容	幼児は本園、乳児は分園で年齢に応じた環境を整えて保育を行っている。月齢・年齢・発達に応じた玩具・絵本を用意し、遊びのコーナーを設置して子どもが自ら玩具を選び、好きな場所で遊び込めるようにしている。子どもの自主性、主体性を育む活動として、外部講師によるリトミック・歌・鍵盤ハーモニカ・製作・囲碁・体操等の教室活動、配膳・日直・生き物飼育等の当番活動、地域奉仕の清掃活動がある。様々な表現や人との関わりを楽しめるように工夫して取り組んでいる。
2	タイトル	自然の中で多様な体験ができるように、戸外・園外活動を積極的に取り入れている
	内容	近隣に公園が多く、天気が良ければ目的に応じたコースで出かけている。戸外活動は自然に触れられるように場所を選定し、園の畠では子どもたちが野菜を育て収穫している。5歳児クラスは田植え・稻刈りも行っている。園外活動では、年齢に応じてザリガニ釣りや動物園・水族館、大きな公園などに出かけ、園ではできない体験をしている。5歳児は都外宿泊保育もある。夏期は0・1・2歳児は湯遊びを行い、3・4・5歳児はプール遊びをしている。奉仕活動で園周辺の清掃活動を行うなど、一年を通して様々な戸外・園外活動に取り組んでいる。
3	タイトル	法人独自の献立を使用し、素材の味を活かした手作りの給食を提供している
	内容	今年度より法人独自の献立を作成・利用し始めた。使用する食材が増えバラエティも豊かになっている。給食は和食を中心とし、素材の味を活かす薄味で調理している。出汁をとり、手作りで提供している。2歳児から簡単なクッキングがあり、年齢に応じて野菜の皮むき、さや取り、ピザ作り等を行い、食材に触れる機会を設けている。栄養士が食に関する話をしたり、箸の使い方の指導をしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保護者からの要望の高い安全性の確保について、職員の意識をさらに高めていく
	内容	今回の保護者アンケートでは、回答者のほぼ全員の方が、総合的な保育園の感想として「大変満足」・「満足」と回答されていた。一方、安全面に関して、室内の環境や玄関の施錠などについて改善してほしいとの声が複数聞かれていた。職員内で内容を確認し、保護者に園の取り組みを伝え、職員の意識をさらに高めていくことが期待される。
2	タイトル	各行事の見直しなど、職員の業務負担のさらなる削減に取り組んでいく
	内容	今回の職員自己評価では、職員の業務負担の軽減について要改善点に挙げる声が複数聞かれた。園としてもICTのさらなる活用により事務作業の効率化に取り組んでいる。さらに、各行事について内容の見直しに取り組んでいく意向である。また、職員を指導するリーダー層の育成も図っていきたいと考えている。
3	タイトル	法人内の各園で保護者対応に差が出ないよう、統一したマニュアル作りに取り組む
	内容	法人内に保育園が複数あるため、法人内で統一したマニュアル作りに、法人園長会議、主任会議を中心にして取り組んでいる。法事内での業務の標準化については、職員の自己評価でも要改善点として挙げられていた。正規職員は法人内で異動もあるため、保護者対応に差が出ないよう、職員内にしっかりと周知していきたいと考えている。